



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日

東

上場会社名 株式会社A&Dホロンホールディングス 上場取引所
コード番号 7745 URL <https://andholon.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 森島 泰信
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 高橋 浩二 (TEL) 048-593-1590
定時株主総会開催予定日 2026年6月25日 配当支払開始予定日 2026年6月26日
有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	69,326	3.3	9,209	4.5	9,470	5.8	5,923	△8.4
2025年3月期	67,083	8.3	8,813	10.8	8,954	8.7	6,468	22.1

(注) 包括利益 2026年3月期 8,033百万円(25.1%) 2025年3月期 6,420百万円(4.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	216.33	216.13	12.9	13.1	13.3
2025年3月期	235.63	235.41	16.1	12.7	13.1

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	75,277	49,577	65.7	1,806.70
2025年3月期	69,005	42,797	61.9	1,560.29

(参考) 自己資本 2026年3月期 49,480百万円 2025年3月期 42,711百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	6,469	△3,792	△2,909	13,618
2025年3月期	6,578	△2,005	△5,440	13,257

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	1,109	17.0	2.7
2026年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00	1,524	25.4	3.3
2027年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00		36.5	

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	28,000	△7.8	800	△74.7	750	△77.5	400	△76.5
通 期	68,000	△1.9	7,000	△24.0	6,900	△27.1	4,500	△24.0

164.31

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 一社(社名)— 、除外 1社(社名)A&D Technology Inc.

2025年4月1日付で、A&D ENGINEERING, INC. を存続会社、A&D Technology Inc. を消滅会社とする吸収合併を行っております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期	27,845,208株	2025年3月期	27,845,208株
2026年3月期	457,887株	2025年3月期	471,447株
2026年3月期	27,380,567株	2025年3月期	27,453,147株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	18
(追加情報)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、主要国においてインフレ率の低下傾向がみられ、金融政策面でも引締め局面の終息が意識されるなか、総じて底堅く推移しました。一方で、ウクライナ情勢の長期化や中東地域の緊張の高まりに伴う地政学リスクのほか、米国における金融・通商政策を巡る不確実性、中国経済の成長鈍化などにより、依然として先行きに対する不透明感が強い状況が続いております。

このような状況のもと、当社では当期を初年度とする中期経営計画（2025年度～2027年度）に基づき、各事業の戦略およびグループ機能強化のための施策を推進してまいりました。

半導体関連事業は、中期的な需要拡大基調に変化はないものの、前期までの旺盛な需要の反動により当期は調整局面に入り、その影響を受けて減収減益となりました。計測・計量機器事業は、米国においてEV関連の事業環境変化や関税の影響から厳しい状況が続いたものの、日本での安定した収益確保が下支えとなり、増収増益となりました。医療・健康機器事業は、海外での堅調な需要や為替の影響によって増収となりました。営業利益は米国関税によるコスト増の影響を受けたものの、価格適正化や生産性向上の効果により概ね前年並みの水準を維持しました。

この結果、当連結会計年度の売上高は69,326百万円（前連結会計年度比3.3%増）、営業利益は9,209百万円（前連結会計年度比4.5%増）、経常利益は9,470百万円（前連結会計年度比5.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は5,923百万円（前連結会計年度比8.4%減）となりました。

なお、このたび、当社韓国の連結子会社A&D SCALES CO., LTD.において、資金管理上不適切な支出が行われていた事案が判明したことから、当期業績に与える損害額243百万円を特別損失として計上いたしました。ただ、本件につきましては調査を継続しており、損害額に変更が生じる可能性がございます。株主・投資家の皆さまをはじめ、関係者の皆さまには、多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。今後は、再発防止策の立案と徹底を図るとともに、グループ全体での管理体制を強化してまいります。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①半導体関連事業

当期においては、市場環境および顧客ごとの需要動向にばらつきが見られるなか、一部顧客における先行需要の反動減の影響が大きく売上は減少しました。利益面でも、製品構成の変化に加え、サービス業務拡大に向けた先行投資の増加も影響し減少しました。

この結果、半導体関連事業の売上高は11,114百万円（前連結会計年度比9.6%減）、営業利益は3,628百万円（前連結会計年度比12.0%減）となりました。

②計測・計量機器事業

日本においては、計量機器の堅調な需要に加え、DSP機器の大口案件も寄与し売上は増加しました。利益面においても、売上増に伴う生産性向上に加え、DSP機器の収益改善策が通期にわたって奏功したことで増加しました。

米州では、計量機器の需要は堅調でしたが、一方でEVを取り巻く政策・市場環境の変化を受けた設備投資抑制や関税によるコスト増などの影響により、売上・利益ともに減少しました。

アジア・オセアニアにおいては、韓国での計量機器需要は低迷が続いているものの、中国やインドでの同機器の需要が好調に推移したことで、売上・利益ともに増加しました。

この結果、計測・計量機器事業の売上高は31,545百万円（前連結会計年度比2.9%増）、営業利益は3,387百万円（前連結会計年度比25.2%増）となりました。

③医療・健康機器事業

日本においては、医科向け計量器の需要低迷や海外向け製品の商流変更により実績の一部が他地域で計上された影響から売上は減少しました。一方、利益面では海外向け製品の出荷数量増加に伴う生産性向上などによって前期並みを確保しました。

米州においては、医療機器の大口顧客向け実績が大きく伸長したことに加え、健康機器における医療DX対応製品や販売チャネルの拡大によって売上は増加しました。一方、利益は関税および販売活動強化に伴うコスト増が影響し減少しました。

欧州においては、日本からの商流変更および為替の影響により円換算後の売上が大きく増加しました。利益面では、販売活動強化に伴うコスト増を価格適正化による収益性改善などでカバーし増加しました。

この結果、医療・健康機器事業の売上高は26,667百万円（前連結会計年度比10.5%増）、営業利益は4,009百万円（前連結会計年度比2.4%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は75,277百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,272百万円増加いたしました。これは受取手形、売掛金及び契約資産や商品及び製品を中心に流動資産が3,624百万円増加したことに加え、建物及び構築物を中心に固定資産が2,648百万円増加したことによるものであります。

当連結会計年度末の負債は25,700百万円となり、前連結会計年度末に比べ506百万円減少いたしました。これ

は主に1年内返済予定の長期借入金の増加等により流動負債が369百万円増加した一方、長期借入金の減少等により固定負債が876百万円減少したことによるものであります。

当連結会計年度末の純資産は49,577百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,779百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益等により株主資本が4,689百万円増加したことや為替換算調整勘定の増加等によりその他の包括利益累計額が2,079百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フローが6,469百万円、投資活動によるキャッシュ・フローが△3,792百万円、財務活動によるキャッシュ・フローが△2,909百万円、現金及び現金同等物に係る換算差額が593百万円発生した結果、13,618百万円（前連結会計年度比2.7%増）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は6,469百万円（前連結会計年度比1.7%減）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益が8,669百万円、減価償却費が1,906百万円あった一方で、法人税等の支払額が2,523百万円、売上債権の増加額が1,828百万円、仕入債務の減少額が1,122百万円あったことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は3,792百万円（前連結会計年度比89.1%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が3,047百万円、無形固定資産の取得による支出が575百万円あったことによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は2,909百万円（前連結会計年度比46.5%減）となりました。これは主にリース債務の返済による支出が557百万円、長期借入金の返済による支出が731百万円、配当金の支払額が1,248百万円あったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率(%)	40.8	46.8	52.3	61.9	65.7
時価ベースの自己資本比率(%)	33.8	56.3	110.7	72.7	91.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	10.9	5.3	2.5	2.1	2.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	12.4	14.5	17.4	19.9	21.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利息を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、地政学リスクの継続や米国の関税政策、為替相場の変動などに加え、国際的な経済・金融環境の変動などの影響を受け、引き続き不透明な状況が続くものと認識しております。

このような環境認識のもと、当社グループは長期ビジョンの実現に向けたSTEP1としての中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）を推進してまいりましたが、直近の世界経済の動向および事業環境の変化が業績に与える影響を踏まえ、中期経営計画を見直すことといたしました。中期経営計画の基本テーマや成長戦略の方向性は維持しつつ、来期以降の業績回復および中長期的な成長軌道への回帰を確実なものとするため、各事業の収益力を一層強化し、持続的な企業価値向上を目指してまいります。

① 半導体関連事業

半導体関連市場は引き続き中長期的な拡大が見込まれるものの、足元では中国市場における一過性の需要調整の影響が顕在化しております。グローバルでの販売・サービス体制を強化するとともに、新製品開発を通じた製品ラインアップの拡充を進め、中長期的な成長軌道への回帰と収益基盤の強化に取り組んでまいります。

② 計測・計量機器事業

環境規制強化や自動化の進展、品質・認証要求の高まりなどを背景に、グローバルで計測・計量ニーズは高度化しておりますが、足元ではEV関連投資の抑制などに伴う需要調整の影響が顕在化しております。重点地域における販売強化など既存事業の深耕により安定的な収益確保を図るとともに、対象業界・応用分野の拡張を進め、将来の成長に向けた事業基盤の強化に取り組んでまいります。

③ 医療・健康機器事業

医療DXの進展を背景に中長期的な需要拡大が見込まれる一方、米国関税政策や海外インフレに伴うコスト上昇が収益性に影響を及ぼしております。さらなる原価低減や高付加価値製品の拡販を通じて収益性の改善を進めるとともに、成長分野を中心とした需要の取り込みにより、安定的かつ持続的な事業成長を目指してまいります。

次期の連結業績見通しは、売上高68,000百万円、営業利益7,000百万円、経常利益6,900百万円、親会社株主に帰属する当期純利益4,500百万円を予定しております。

なお、業績見通しで前提とした為替レートは1米ドル150円、1露ルーブル1.9円であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループでは、国際財務報告基準（IFRS）の適用時期等につきまして、諸情勢を考慮しながら検討を進めております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,346	13,758
受取手形、売掛金及び契約資産	16,567	19,086
商品及び製品	9,758	11,153
仕掛品	4,373	3,867
原材料及び貯蔵品	5,872	5,755
その他	1,829	1,820
貸倒引当金	△78	△148
流動資産合計	51,668	55,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,739	13,041
減価償却累計額	△6,632	△6,974
建物及び構築物（純額）	4,106	6,067
機械装置及び運搬具	2,726	2,917
減価償却累計額	△2,232	△2,415
機械装置及び運搬具（純額）	493	501
工具、器具及び備品	8,087	8,432
減価償却累計額	△7,092	△7,414
工具、器具及び備品（純額）	994	1,018
土地	5,849	5,886
リース資産	597	525
減価償却累計額	△255	△285
リース資産（純額）	341	240
使用権資産	1,153	1,280
減価償却累計額	△797	△662
使用権資産（純額）	356	618
建設仮勘定	732	273
有形固定資産合計	12,875	14,606
無形固定資産		
のれん	3	146
商標権	0	0
ソフトウェア	1,254	1,324
その他	79	70
無形固定資産合計	1,338	1,543
投資その他の資産		
投資有価証券	315	357
退職給付に係る資産	179	979
繰延税金資産	1,980	1,762
その他	648	737
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	3,122	3,835
固定資産合計	17,336	19,984
資産合計	69,005	75,277

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,971	3,500
短期借入金	10,811	10,447
1年内返済予定の長期借入金	731	1,194
リース債務	425	439
未払法人税等	1,178	1,206
契約負債	901	855
賞与引当金	1,411	1,448
製品保証引当金	244	283
計量法関連損失引当金	-	419
その他	3,104	3,352
流動負債合計	22,780	23,149
固定負債		
長期借入金	1,267	174
リース債務	345	496
繰延税金負債	1	6
製品保証引当金	26	29
退職給付に係る負債	1,052	1,101
役員株式給付引当金	243	259
資産除去債務	36	36
その他	454	445
固定負債合計	3,426	2,550
負債合計	26,207	25,700
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,388	6,388
資本剰余金	8,345	8,345
利益剰余金	28,831	33,507
自己株式	△446	△432
株主資本合計	43,119	47,809
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34	62
為替換算調整勘定	△493	1,059
退職給付に係る調整累計額	49	549
その他の包括利益累計額合計	△408	1,671
非支配株主持分	86	96
純資産合計	42,797	49,577
負債純資産合計	69,005	75,277

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	67,083	69,326
売上原価	36,880	37,875
売上総利益	30,203	31,451
販売費及び一般管理費	21,390	22,241
営業利益	8,813	9,209
営業外収益		
受取利息	443	547
受取配当金	29	34
為替差益	-	153
受取地代家賃	54	62
その他	97	71
営業外収益合計	624	869
営業外費用		
支払利息	326	299
過年度関税等	-	249
為替差損	82	-
その他	74	60
営業外費用合計	483	609
経常利益	8,954	9,470
特別利益		
固定資産売却益	5	6
投資有価証券売却益	13	-
受取補償金	200	-
特別利益合計	218	6
特別損失		
計量法関連損失引当金繰入額	-	552
横領損失	-	243
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	5	9
減損損失	69	-
投資有価証券評価損	2	0
特別損失合計	77	806
税金等調整前当期純利益	9,095	8,669
法人税、住民税及び事業税	2,257	2,700
法人税等調整額	343	21
法人税等合計	2,601	2,722
当期純利益	6,494	5,947
非支配株主に帰属する当期純利益	25	23
親会社株主に帰属する当期純利益	6,468	5,923

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	6,494	5,947
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	27
為替換算調整勘定	8	1,559
退職給付に係る調整額	△72	499
その他の包括利益合計	△74	2,086
包括利益	6,420	8,033
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,404	8,000
非支配株主に係る包括利益	15	33

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,388	8,319	23,471	△162	38,017
当期変動額					
剰余金の配当			△1,109		△1,109
親会社株主に帰属する当期純利益			6,468		6,468
自己株式の取得				△299	△299
自己株式の処分		26		16	42
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	26	5,359	△283	5,102
当期末残高	6,388	8,345	28,831	△446	43,119

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	45	△511	122	△344	89	37,762
当期変動額						
剰余金の配当						△1,109
親会社株主に帰属する当期純利益						6,468
自己株式の取得						△299
自己株式の処分						42
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△10	18	△72	△63	△2	△66
当期変動額合計	△10	18	△72	△63	△2	5,035
当期末残高	34	△493	49	△408	86	42,797

当連結会計年度(自2025年4月1日 至2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,388	8,345	28,831	△446	43,119
当期変動額					
剰余金の配当			△1,247		△1,247
親会社株主に帰属する当期純利益			5,923		5,923
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分				14	14
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	4,675	14	4,689
当期末残高	6,388	8,345	33,507	△432	47,809

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	34	△493	49	△408	86	42,797
当期変動額						
剰余金の配当						△1,247
親会社株主に帰属する当期純利益						5,923
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						14
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	27	1,552	499	2,079	9	2,089
当期変動額合計	27	1,552	499	2,079	9	6,779
当期末残高	62	1,059	549	1,671	96	49,577

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	9,095	8,669
減価償却費	1,781	1,906
減損損失	69	-
のれん償却額	17	19
商標権償却額	0	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△37	60
受取利息及び受取配当金	△472	△582
支払利息	326	299
横領損失	-	243
受取補償金	△200	-
固定資産売却損益 (△は益)	△5	△5
固定資産除却損	5	9
売上債権の増減額 (△は増加)	1,255	△1,828
棚卸資産の増減額 (△は増加)	284	287
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,246	△1,122
賞与引当金の増減額 (△は減少)	23	37
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△106	36
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△36	729
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△6	△800
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	152	16
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△122	-
計量法関連損失引当金の増減額 (△は減少)	-	419
その他	△1,878	552
小計	8,899	8,948
利息及び配当金の受取額	470	586
利息の支払額	△330	△298
横領による支出額	-	△243
補償金の受取額	200	-
法人税等の支払額	△2,660	△2,523
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,578	6,469
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△344	△109
定期預金の払戻による収入	882	49
有形固定資産の取得による支出	△1,525	△3,047
有形固定資産の売却による収入	12	16
無形固定資産の取得による支出	△493	△575
投資有価証券の取得による支出	△154	△1
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△84	-
事業譲受による支出	△316	△144
その他	19	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,005	△3,792

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△2,499	△481
長期借入れによる収入	1,044	14
長期借入金の返済による支出	△2,302	△731
リース債務の返済による支出	△511	△557
セール・アンド・リースバックによる収入	237	85
自己株式の取得による支出	△299	△0
自己株式の売却による収入	29	-
配当金の支払額	△1,108	△1,248
非支配株主への配当金の支払額	△17	△25
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△12	-
その他	0	35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,440	△2,909
現金及び現金同等物に係る換算差額	107	593
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△759	361
現金及び現金同等物の期首残高	14,016	13,257
現金及び現金同等物の期末残高	13,257	13,618

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは半導体関連機器、計測・計量機器及び医療・健康機器を生産、販売しており、国内においては当社の国内子会社が、海外においては米州（アメリカ、カナダ）、欧州（イギリス、ドイツ、ロシア）、アジア・オセアニア（中国、韓国、インド、オーストラリア等）の各地域を各現地法人がそれぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、取り扱う製品「半導体関連」「計測・計量機器」及び「医療・健康機器」の生産、販売体制を基礎にして地域別のセグメントから構成されており、3つの製品群別に「日本」「米州」「欧州」「アジア・オセアニア」を報告セグメントとしております。なお、各製品群に属する主要な製品は以下の通りであります。

製品群	主要製品
半導体関連事業	A/D・D/A変換器、電子銃、半導体電子ビーム測定・検査装置
計測・計量機器事業	計測・制御・シミュレーションシステム、音・振動解析装置、試験機、電子天秤、重量天秤、台秤、商業秤、個数計、計量システム、インジケータ、ロードセル、ウェイトチェッカ、金属検出機、工業計測機器、油圧試験装置、排ガス計測機器等
医療・健康機器事業	家庭用デジタル血圧計、血圧監視装置、全自動血圧計、精密体重計、超音波吸入器等

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されているセグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

セグメント利益又は損失(△)は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	半導体関連事業				
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客への売上高	12,295	—	—	—	12,295
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,295	—	—	—	12,295
セグメント利益又は損失(△)	4,124	—	—	—	4,124
セグメント資産	14,200	—	—	—	14,200
その他の項目					
減価償却費	231	—	—	—	231
のれんの償却額	—	—	—	—	—
減損損失	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	844	—	—	—	844

	計測・計量機器事業				
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客への売上高	18,712	5,719	649	5,583	30,665
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,464	389	0	3,495	7,350
計	22,177	6,109	650	9,079	38,016
セグメント利益又は損失(△)	2,075	69	△28	588	2,704
セグメント資産	32,207	3,689	364	7,531	43,792
その他の項目					
減価償却費	642	65	2	159	869
のれんの償却額	—	—	—	17	17
減損損失	69	—	—	—	69
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	809	21	1	136	969

	医療・健康機器事業					調整額 (注1)	連結 財務諸表計 上額 (注2)
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,805	10,003	8,820	493	24,122	—	67,083
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,887	2	0	8,168	21,058	△28,409	—
計	17,693	10,006	8,820	8,661	45,181	△28,409	67,083
セグメント利益又は損失(△)	3,215	472	193	224	4,106	△2,123	8,813
セグメント資産	7,774	5,077	8,315	3,751	24,919	△13,907	69,005
その他の項目							
減価償却費	219	68	95	232	616	64	1,781
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—	17
減損損失	—	—	—	—	—	—	69
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	351	44	44	47	488	85	2,387

- (注) 1. (1) セグメント利益又は損失の調整額△2,123百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,905百万円及び報告セグメント間の取引における棚卸資産の未実現利益消去△158百万円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額△13,907百万円にはセグメント間取引消去△17,466百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産3,558百万円が含まれております。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額85百万円は、主に基幹システムの設備投資額であります。
- (4) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、それぞれ長期前払費用の償却額及び増加額が含まれております。
2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	半導体関連事業				
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客への売上高	11,099	—	—	15	11,114
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	—	—	—	11
計	11,110	—	—	15	11,125
セグメント利益又は損失(△)	3,620	—	—	7	3,628
セグメント資産	13,651	—	—	9	13,661
その他の項目					
減価償却費	276	—	—	0	276
のれんの償却額	—	—	—	—	—
減損損失	—	—	—	—	—
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,302	—	—	0	2,302

	計測・計量機器事業				
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客への売上高	20,241	4,989	618	5,696	31,545
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,698	103	—	3,436	7,238
計	23,939	5,092	618	9,132	38,783
セグメント利益又は損失(△)	3,060	△345	41	630	3,387
セグメント資産	35,342	4,351	260	7,845	47,799
その他の項目					
減価償却費	664	48	9	152	875
のれんの償却額	—	15	—	3	19
減損損失	—	—	—	—	—
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	808	16	43	111	979

	医療・健康機器事業					調整額 (注1)	連結 財務諸表計 上額 (注2)
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,348	11,129	10,598	590	26,667	—	69,326
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,698	8	0	7,802	20,509	△27,758	—
計	17,047	11,137	10,598	8,392	47,176	△27,758	69,326
セグメント利益又は損失(△)	3,244	168	454	141	4,009	△1,815	9,209
セグメント資産	7,479	6,944	9,492	4,259	28,175	△14,359	75,277
その他の項目							
減価償却費	259	81	114	224	678	75	1,906
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—	19
減損損失	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	225	29	208	361	824	108	4,215

- (注) 1. (1) セグメント利益又は損失の調整額△1,815百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,909百万円及び報告セグメント間の取引における棚卸資産の未実現利益の調整79百万円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額△14,359百万円にはセグメント間取引消去△19,441百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産5,082百万円が含まれております。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額108百万円は、主に基幹システムの設備投資額であります。
- (4) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、それぞれ長期前払費用の償却額及び増加額が含まれております。
2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,560円29銭	1,806円70銭
1株当たり当期純利益	235円63銭	216円33銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	235円41銭	216円13銭

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2025年3月31日)	当連結会計年度末 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額	42,797百万円	49,577百万円
純資産の部の合計額から控除する金額	86百万円	96百万円
(うち非支配株主持分)	(86百万円)	(96百万円)
普通株式に係る期末の純資産額	42,711百万円	49,480百万円
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数	27,373千株	27,387千株

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益	6,468百万円	5,923百万円
普通株主に帰属しない金額	－百万円	－百万円
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	6,468百万円	5,923百万円
期中平均株式数	27,453千株	27,380千株
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額	－百万円	－百万円
普通株式増加数	25千株	25千株
(うち新株予約権)	(25千株)	(25千株)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	――	――

3. 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めており、また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めております。
- なお、1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は前連結会計年度272千株、当連結会計年度344千株、1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は前連結会計年度351千株、当連結会計年度337千株であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結貸借対照表関係)

(計量法関連損失引当金)

当社の連結子会社である株式会社エー・アンド・デイは、計量法第49条「検定証印の除去義務」違反に該当する検定証印等の除去が行われていない機器に対し、順次、再修理または新品交換等の是正対応を進めております。

これらの対応に伴い、発生が見込まれる新品交換品費用、配送・回収費用、修理部門の人件費・経費等について、現時点で合理的に見積もり可能な範囲で「計量法関連損失引当金」として計上しております。

(連結損益計算書関係)

(計量法関連損失引当金繰入額)

当社の連結子会社である株式会社エー・アンド・デイによる計量法第49条「検定証印の除去義務」違反に対し、2025年9月30日に公表した是正措置および再発防止策に基づき、発生が見込まれる是正対策費用552百万円を引当金繰入額として特別損失に計上しております。